

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、14～21℃台を示し、やや低めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり7トンの水揚げで、前週の64%（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週の2倍（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、壱岐勝本地区では1日当たり5kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり16kgの水揚げで、前週の70%（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ソウダガツオなどが1日1統当たり440kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり111kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり135kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり368kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（11/25～11/29の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、隠岐諸島北沖で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び浜田沖～隠岐諸島周辺～佐渡沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）1日延1隻、総計32箱、スルメイカを漁獲、魚体は20入り。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

「第3-33号 今期のトビウオ漁模様とトビウオ漁況予報の検証」を公表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>